

感染症情報 11月13日～19日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	885例(堺市	33例)
②溶連菌感染症	431例(堺市	46例)
③RSウイルス感染症	217例(堺市	16例)
④手足口病	123例(堺市	1例)
⑤咽頭結膜熱	98例(堺市	7例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 147例(堺市 7例)

が報告された。

感染症報告数は前週比2.9%減の2,045件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より4%増、堺市で前週より20%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より4%減、堺市で前週39例→今回46例で18%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週比19%減、堺市で48%減であった。定点当たりで見ると、前週が1.3で、今回は1.1であった。手足口病は府下で前週比15%増、堺市で前週4例→今回1例であった。咽頭結膜熱は府下で前週比23%増、堺市で前週5例→今回7例であった。

インフルエンザは府下で前週97例→今回147例で52%増、堺市では前週が7例で、今回も7例であった。定点当たりでは前週0.3で、今回は0.5となった。

麻疹や風疹の報告はなかった。